### 第14回相模原市行財政構造改革本部会議 会議録

日時 令和2年12月25日(金)午後3時45分~

会場 第1特別会議室

出席者 市長、下仲副市長、隠田副市長、森副市長、教育長、市長公室長、市長公室理事、 総務局長、財政局長、危機管理局長、市民局次長(代理)健康福祉局長、こども・ 若者未来局長、環境経済局長、まちづくり計画部長(代理)緑区長、中央区長、 南区長、教育局長、消防局長

## 開会のあいさつ

1 相模原市行財政構造改革プラン(案)について

### < 主な意見等 >

### (「相模原市の財政構造」について)

市民にとって分かりづらいため、本市の財政構造や現状、これまでの推移といった点などを丁寧に説明した方がよい。また、専門用語が多いため解説を加えるなどの工夫が必要と考える。

用語解説やグラフを加えるなど、分かりやすい内容となるよう工夫を行っていきたい。

市単独事業の扶助費があたかも悪者かであるような誤解を招く表現は、修正願いたい。

実際、こうした扶助費の恩恵を受けている市民の方々もおり、十分に配慮して頂きたい。

# (「改革プランの計画期間及び取組内容」について)

本市が目指すべき将来像や「本市が特に重点的に力を入れる分野」等は、第1期より 本改革プランに記載していくべき。

○ 扶助費の見直しの実行に当たっては、事前に関係団体等へ説明を行う必要がある。その際、本市が目指すべき将来像を示すことにより、見直しへの理解を得られることになると思われることから、それらについて、早期に決定する必要がある。

新型コロナウイルス感染症の影響により社会構造も変化しており、感染症収束後に 本市が目指すべき将来像を踏まえる必要があるものと考えている。

そうしたことから、将来が見通せない中で、決定できる状況にないと考えている。「新型コロナウイルス関連施策立案支援業務委託」における調査結果なども参考とし、第1期中に検討を行う考えである。

新型コロナウイルス感染症の収束後に本市が目指すべき将来像を描き、その実現に

向けた事業等の選択と集中を行っていくとしているが、総合計画の見直しも検討していくのか。

総合計画の基本構想に掲げた将来像は変わるものではないと考えている。

しかしながら、基本計画は、新型コロナウイルス感染症の影響による社会構造の変化等を考慮したものではないことから、見直すことについても検討が必要であると考えている。

## (「政策決定プロセスの見直し及び職員の意識改革促進策」について)

市長公室が政策推進に当たっての主導的な役割を果たしていくとあるが、これまでの庁内分権を進めてきた考え方と相反するのではないか。また、政策決定プロセスの見直しについて、庁議システムの見直しも視野に入れているのか。

庁内分権を否定するものではなく、各局横断的に取り組むべき施策の推進などに当たり、より一層、市長公室において主導的に総合調整等を担っていく考え方を示したものであり、庁議を廃止するというようなことではない。

市長公室が、政策をセレクトし、横串を通すのは本来的な役割であり、政策決定プロセスの見直しについて改革プランに記載するのであれば、現状の課題やその解決策を示すべきではないか。

職員の意識改革という項目については賛成だが、「組織のあり方と職員一人ひとりの意識改革」の連動など相互の関連性が示されていない。

# (「既存の公共施設等の見直し」について)

廃止の方向性が示されている施設があるが、見直しの取組内容は、施設の集約化や公の施設としての廃止に向けた検討を行うことなどとしているものであり、当該施設の機能が無くなることが既に決定したものであるかのような誤解を招かないよう、表現をご検討いただきたい。

淵野辺駅南口周辺まちづくり事業の方向性については、市民検討会で議論している ところであり、その結論が出る前に、この時点で方向性を記載する必要があるのか。「新 たなまちづくり事業等の見直し」における同様の記載も参考にして、表現を検討すべき。

### (その他)

- 2 - (3)に「令和3年度当初予算編成を踏まえた長期財政収支の更新」が掲げられているが、令和3年度当初予算は、本改革プランの策定の趣旨も踏まえて編成されることから、「改革の取組を見込んだ長期財政収支」などの表現に改めること。

また、改革の取組を踏まえたものとする趣旨から、「 具体的な改革項目及び数値目標」の後に置くこと。

# (結論)

今回の本部会議で出された意見を踏まえ、事務局において所要の修正を行うこととし、改革プラン(案)の作成後においても、市民や議会からのご意見等について所要の修正を加えることや、引き続き、本部会議等における議論・修正を行うことも前提とし、この案をもって、本部会議として決定することとしてよろしいか。 異議なし。

2 その他特になし

以 上